

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.47

2009.7.6

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019 - 684 - 2225

FAX019 - 684 - 2227

イラク人医師モハメッド・シャキルさんのお話を聞いて（6月13日盛岡にて講演）

憲法9条は「希望の証し」

「バグダード」という名前の意味は「平和の街」、03年春以前のバグダードは、まさに平和の街だったそうです。国連が、「イラクには、核兵器、大量破壊兵器は存在しない」と繰り返し明言したのに、イラク侵攻は始まりました。2か月後「兵器はなかったが、イラクに民主主義を！」と言いながら、Democracy（民主主義）の「D」とはほど遠い、とんでもない「D」をもたらしました。Death（死）、Destruction（破壊）、Detention（拘束）、Displacement（避難）、Disease（病気）、Destabilization（不安定）、Deepening of sectarian differences（宗教対立）という7つの「D」です。



映像とシャキルさんのお話が進むにつれて、この戦争がいかにも傲慢で無意味な戦争だったのか、と怒りがこみ上げました。マスメディアが真実を伝えていない事に驚きました。

シャキルさんは、日本の憲法9条は「希望の証し」と結びました。日本の支援がなければ、米軍の侵略行為は維持できないのだから、米軍支援と自衛隊の参戦を止めてほしいと。私たちは、憲法9条に守られていながら、まだまだ理解が不足だと思いました。また憲法9条はもう日本だけのものではなく、世界の「希望」になっているんだと実感しました。そして「世界」の希望ではあるけれど、守れるのは「日本」の主権者だけ、なのだと...

主催した「平和憲法・9条をまもる盛岡地域推進会議」メンバーの反町久美さん（いわて生協）報告（シャキルさんは6月12日～14日岩手に滞在し、東和町、北上市など計6回講演されました）

「海賊対処法」よりも、生活基盤や経済復興の支援を

6月19日、衆議院本会議で、「海賊対処法」が与党の賛成多数で再可決、成立しました。政府は今年3月から、自衛隊法に基づく「海上警備行動」として、護衛艦やP3C哨戒機を派遣し、ソマリア沖・アデン湾で日本に関係する船舶の海賊からの護衛を行ってきました。

「海賊対処法」は7月下旬には施行され、外国船も護衛対象となり、海賊船が撃つ前の先制攻撃を容認しています。このことから、自衛隊が初めて武器を使用し人を殺傷する危険性があります。また、国会承認が不要なことから、海賊対策を理由に、恒常的に自衛隊の海外派遣ができる可能性があります。

海賊行為はもちろん根絶されなければならないことですが、ソマリアの内政の混乱や治安悪化が大きな要因とされることから、自衛隊派遣ではなく、生活基盤や経済復興の支援を行い、海賊行為をもたらず根源をなくすことこそが重要です。

憲法前文や第9条に示された平和をまもるため、海賊対策を名目とした海外派兵や、自衛隊の活動範囲が広がらないよう、とりくみ求めていく必要があります。（9条をまもる岩手の会事務局）

今月の署名行動 7月は、9日（木）に大通り・野村證券前にて12：00から行ないます

『平和記念展示館』と『深澤晟雄資料館』見学で有意義な一日

《地域の会ニュース》
城東地区九条の会

城東地区九条の会は盛岡医療生協天神支部と共催で、6月20日(土)に「平和と医療学習見学会」を実施、マイクロバスで20名が参加し盛況でした。

「北上平和記念展示館」(北上市和賀町)は若い農民兵士から届いた七千通もの軍事郵便を中心に紹介しており、田畑の作柄を心配する気持ち、特攻隊員として出撃を待つ心情など、綴られた言葉や行間から戦争の愚かさを感じさせられます。

「深澤晟雄資料館」(西和賀町)はご存じのとおり沢内村の深澤村長の「生命尊重行政」の偉業を全国に発信する基地として昨年開館されました。

帰りのバスの中で参加者からは「どちらも初めて見る施設で感動しました。また家族で行ってみたい。」「ささやかな家庭の幸せを奪う戦争は決して許してはならないと思いました。」などの感想が寄せられ、楽しくそして有意義な一日となりました。



《地域の会ニュース》



県内の戦跡や資料館を巡る平和バスツアー

6月27日、学生など15名で県内の戦跡や資料館を巡る平和バスツアーを行いました。はじめに北上市にある「岩手陸軍飛行場跡」に行きました。今は公園に整備され立派な碑が建っていますが、当時は12万人にも上る勤労奉仕によって整備された飛行場で、日本最北の特攻出撃の地だったそうです。その後、「平和観音堂」や「北上平和記念展示館」「千三さんのお墓」、衣川の「太平洋戦史館」に行きました。

平和観音堂では高橋峯次郎さんに、太平洋資料館では館長の岩淵宣輝さんに話を聞きましたが、それぞれ教え子や父親など身近な人を外地(パプアニューギニアなど)で亡くした方で、高橋さんは、そのときの反省から



教え子からの『軍事郵便』など当時の資料を集め保存(平和記念館に展示)する活動を、岩淵さんは日本兵の半数近くにあたる116万人が未帰還であることから、東南アジアに直接遺骨収集に268回も出かけ、その際の資料を多くの人に見て欲しいと自ら戦史館を建設したとのことでした。

精力的な取り組みと、歯に衣を着せぬ口調に終始圧倒されました。貴重な資料やこのような方々が岩手におられるとは、恥ずかしながら知りませんでしたし、多くの人にこの事を伝えなければと思いました。

朗読『夏の雲は忘れない』

と き：7月28日(火) 14:00~
18:30~

と ころ：盛岡劇場メインホール
お問合せ：前売券は生協各店舗、
プレイガイドにあります

他会場

7月29日(水) 久慈市・アンバーホール
7月30日(木) 北上市・さくらホール

いわて生協

平和のつどい

長崎に原爆が投下されたこの日、平和祈念像“望み”の前で、平和について家族・友達と楽しく考えてみませんか？

と き：8月9日(日)
10:30~12:30

と ころ：盛岡市高松の池 平和祈念像「望み」前
お問合せ：いわて生協本部 019-603-8299